



第326号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



じんかく みか 人格を磨こう



カット：本多紘子

桃の節句、春寒しだいにゆるむ季節となつて参りました。女の子のいる御家庭では雛飾りを楽しんでいらつしやいますか。何かとせわしい毎日ですが、心と身体の健康だけには気をつけたいものですね。

『光陰矢の如し』と今年が始まつて、あつと言う間に時が過ぎていきます。三月は卒業式のシーズンですが、大学や高校や中学を卒業して社会に出る人や、大学院や大学・高校あるいは専門学校に進学する人もあり、人それぞれの別れと出会いがあります。仲間との別れは切なく寂しいけれど、新たな人との出逢いは自分の世界を広げ、人として大きく成長するために必要なものです。良き師・良き友との出逢いこそ、その人の一生を深い意味ある人生にすることでしょう。

あの人は頭が良いとか、勉強が出来るから羨ましいという人がいますが、勉強で何だろう。辞典には①物事に励むこと。努力すること。②学問や技芸を学ぶこと。学習。③ある目的のための修行や経験をすること、とあります。愚僧は、学校で勉強するのは学問をするためであつて、一流企業に就職するためではないとお寺の学校で学んだことを思い出します。「学問」とは人生の問いを学ぶこと。人生の正しい問い方を学ぶのが「学問」。問いには必ず答えがあり、間違つた問いに

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

は間違つた答え、正しい問いには正しい答えがあります。正しい答えを引き出そうとすれば、正しい問いを学ばなければなりません。つまり、学問とは人として生きていく正しい尋ね方を学ぶと、正しい人生の生き方の答えが返ってくるのです。人としての生きる姿勢や方向を学ぶのが学問なのです。医師には医師の、教師には教師の、僧侶には僧侶の、漁師には漁師の、会社員には会社員の、生きる姿勢や方向が違つていように見えても、みんな互いを支え助けられて生きていくことを自覚すれば、職業に貴賤はなく、人を大切に思いやることのできる社会となるのです。医師の卵や、医学部の学生が知人の女子学生を飲み会で大量に酒を飲み強姦をした事件が頻発し、人の生命を助けることを一番学んだ優秀な人たちがこんな情けない事件をおこすのは、医師としての人格を磨く学問をしていなかったとも言えます。

中国浄土教の祖、善導大師の『二河譬』に「人ありて西に向かいて行かんと欲するに百千の里ならん」とありますが、人間て何だろうと深く考えさせられます。インドでは人間のことをマヌシヤと呼び、よく考へて行動するものと表しています。自分を大切にすると同時に他人の人を大切に生きる生き物という意味です。「西に向かう」とは人間としてうまれてきたことの意味に目覚め、その意味を実現しようとして歩み始めたことです。「百千の里ならん」とは真剣に人生を歩み始めると目的地は遙か遠く百千里の距離ほど、悩みは深くなることを意味しています。我欲に生きる自己中心の醜い心が見えてくるのです。

自己中心といえ、アメリカ新大統領ドナルド・トランプ氏の政策や発言です。自国の利益だけを追求する「米国第一主義」を掲げて、アメリカの保護貿易をちらつかせ、不法移民の退去やイスラム教信者の入国拒否など、矢継ぎ早の大統領令を発令し大変悲しいことです。自由の国アメリカとして世界をリードしてきた国が、突然手のひらを返すような政策ではなく、人を威嚇せず、穏やかな発言で、大統領らしい人格を世界中の子供たちに見せて欲しいな。合掌(奥原 曇龍)

『学問は人生の問いを学ぶこと 人格を磨き謙虚に生きよう』 どんりゅう



カット：奥原 唯

ともしび説法

日時・三月二十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
四月 十六日「日曜日」 午前十時半から午後四時まで。
場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり(5)

インド人自身は自分の国をパールタと呼びます。英国人が日本をジャパンと呼び、日本人が自分の国を日本と呼ぶのと同じです。

アリアン人がインドス川上流の西北地方から、インドに侵入し始めたのが西暦前一五〇〇年頃からですが、それ以前に先住民のドラビダ人やムンダ人がいました。彼らはアリアン人に征服されたが、西暦前五千年の古代インドからの独自の習俗や文化はヒンズー教の信仰の中に多大な影響を与えています。

インドの風土は、最古代においては夏期に河水が氾濫し、平原が水浸しになった。しかし、川の畔に住んでいる住民は夏至のころ河水を避けて移動し、水が引いて土地が半ば乾いたときに種を蒔く。それだけで植物は成長し、収穫は良好でありました。特別に灌漑施設を造る必要がなかったのです。適度の氾濫は土地を肥沃ならしめ、また酷暑の気候は農作物の成長を迅速ならしめたのです。

インドの土地は河水の氾濫によって肥沃であり、一年に二度穀物と果実を収穫することが出来ました。特別の農業労働を行わなくても、たくさんの農作物を生産したのです。ゆえにインドでは、農業生産のため人々が労働の共同を行う必要がなかった。加うるに衣服に関してはほとんど裸体でも差し支えなく、また住居に関しても僅かな材木を使用し、小規模の家を建て命をつなぐだけの生活が出来る。全てのインド人は生活が質素であり、そしてそれに満足していたのです。

このため古代インドの宗教や倫理思想は、労働の徳をそれほど重視せず、禅定や冥想のほうに力点をおきました。特に道徳思想では生産面より、分配面に力点がおかれました。労働における共同生活が少ないので、各個人の生活が孤立的となり、インド人は孤独を楽しむようになりました。お釈迦様が仏教を開く風土があったのですよ。合掌(奥原豊龍)



楽々のびのび体操(心光寺本堂にて)

ともしび法話

桃の節句。お雛様を飾って白酒で季節を味わうのもいいですね。春浅く風が冷たく感じますが、皆様お元気でしようか。

三月は彼岸参りとお寺の行事があります。長女の綾は大学を卒業、次女の唯は高校卒業です。長男の龍は大学の3年に進級し、それぞれが大人へと歩んでいます。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

毎月のともしび有り難うございます。春が待ち遠しい頃ですが、御家族の皆様お元気で過ごして何よりです。お釈迦様のお話や心光寺の行事の様子等、楽しみにです。

静岡県菊川市 津田 幸子

母が一月に突然お浄土に旅立ち、信じられないままのお葬式でした。生前は登山が大好きで、通夜の日に宅急便で山登りのストックが届き、涙が溢れて辛かったです。

倉敷市中庄 重政 修

心光寺で金曜日の2時から3時15分まで無料で倉敷市の指導員が楽々のびのび体操をしてくれ、肩のこりが和らぎました。

倉敷市藤戸天城 宮武 直子

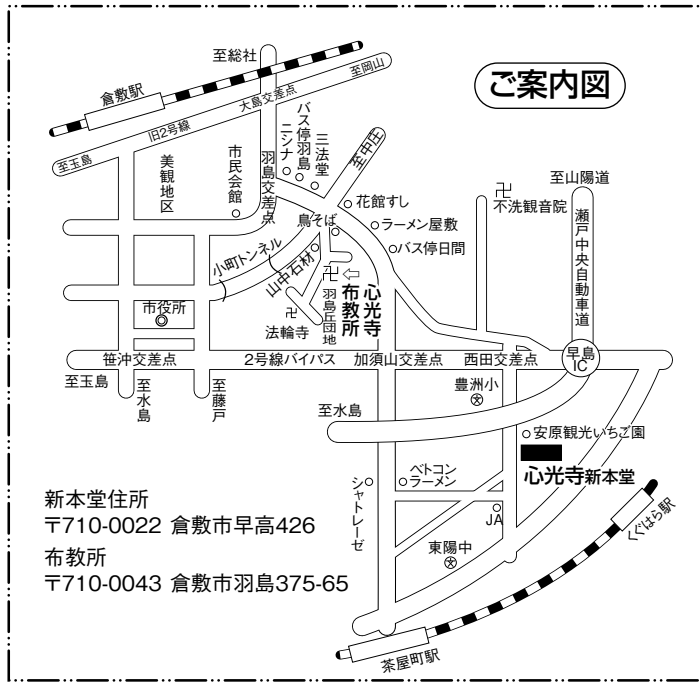
卒業式別れは出会いの始まりと 涙の中に希望のともしび 田辺多恵子

ともしび説法

日時・三月二十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで
四月 十六日「日曜日」 午前十時半から午後四時頃まで
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定
四月 十六日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。
永代経法要、午前パンフルト演奏、午後法要儀式と仏教講演。
五月 十二日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



うしろの詩

上から下 右から左 左から上
チョウチョはまっすぐ飛ばない
次はどっちに向かう
鳥に食べられないよう飛ぶ
人も道を間違えたり回り道をする
きつとそれぞれ命懸けで
自分の道を探している



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 高橋様 三千元
倉敷市 重原様 静岡県 津田様 四千元
倉敷市 人見進様 矢羽田直夫様 五千元
倉敷市 山形田鶴子様 一万元 倉敷市 吉岡理恵様 二万元

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。
お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうとしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「326号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅に12時35分頃、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。心光寺のホームページも携帯のスマホから見えます。 合掌 総代長 三村健